

令和6年度 学校評価

集計結果と今後の方針

(肢体不自由教育部門)



学校評価に御協力いただき、誠にありがとうございました。評価していただいた内容や、評価結果に基づき、設問ごとに今後の方針をまとめましたので、御覧ください。多くの設問に対して丁寧に回答していただき、また貴重な御意見を多数いただきました。学校評価の結果について真摯に受け止め、さらなる教育の充実に向けて、教職員一同、努力を重ねてまいります。

東京都立墨東特別支援学校

学校評価集計結果とまとめ

I 協議委員、保護者、教職員の評価において、以下の基準をもとに各取組の評価を行い、評価記号を付けました。

- ① 評価の平均4以上 (◎)
- ② 評価の平均3以上4未満 (○)
- ③ 評価の平均3未満 (△)

II 回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)では、個人が特定できないように表現を改めるとともに、内容を一部要約しています。

回答率 80%

協議委員：100%	保護者：62%	教職員：100%
-----------	---------	----------

最重点目標 1 墨東生が一体感と誇りをもてる教育活動等の展開

Q 1

【設問】	墨東生が一体感と誇りをもてる教育活動等の展開を進めることができましたか。		
【取組】	入学式・卒業式・始業式・終業式の実施、全校読書活動、笑顔と学びの体験プロジェクトの実施		
【評価】	保護者	4.31	◎
	教職員	4.13	◎
	協議委員	4.80	◎
【分析】 高い評価をいただきました。来年度以降も墨東生が一体感と誇りをもてる教育活動等を工夫してまいります。			

墨東生が一体感と誇りをもてる教育活動等の展開

Q 2

【設問】	HP や X (旧 Twitter) 、学校案内リーフレット、校内外の掲示板等を活用し、保護者や地域住民に向け、必要な内容が必要な時期に発信できていますか。		
【取組】	ホームページ及び X (旧ツイッター) の更新、各種学校通信・全校保護者会通信の発行		
【評価】	保護者	4.14	◎
	教職員	3.93	○
	協議委員	4.70	◎
【分析】 本校の取組の情報発信に引き続き努めてまいります。			

最重点目標 2 効率的・機能的な学校組織の確立による組織力向上

Q 3

【設問】	時間外勤務の把握や業務 mission の共有により、ライフ・ワーク・バランスを踏まえた業務改革を実行することができましたか。(保護者該当なし項目)		
【取組】	業務改善提案の積極的採用・業務見直し、主幹教諭・主任教諭等の業務ミッション一覧の掲示、分掌業務の再編による担当業務の再配分、看護師等の専門性を踏まえた業務目標の明確化		
【評価】	保護者	—	—
	教職員	3.43	○
	協議委員	4.60	◎
【分析】 働き方改革の一層の推進に向けて、業務の見直しと削減、効率化を検討し、時間外勤務を減らす取組を進めてまいります			

最重点目標 3 専門性のある人材を活用した教育の充実

Q 4

【設問】	外部からの講師による研修や外部専門家による指導は、教育の専門性を高め墨東生への指導・支援に役立っていますか。		
【取組】	学習指導アドバイザー、発達支援アドバイザー、肢体不自由教諭アドバイザー、理学療法士、作業療法士、臨床発達心理士、教材製作アドバイザー等による授業者支援等		
【評価】	保護者	4.06	◎
	教職員	4.02	◎
	協議委員	4.70	◎
【分析】 高い評価をいただきました。本取組を継続し、教職員の専門性を向上させ、児童・生徒の教育を充実させられるよう努めてまいります。			

最重点目標4 授業力の向上 個別学習等の力量形成

Q5

【設問】	授業者支援会議、外部専門家等を活用し授業力を推進することにより、児童・生徒の個別指導が充実し基礎学力が充実し基礎学力が向上していますか。		
【取組】	若手研修対象者への授業者支援会議の実施、指導実技型授業力向上研修の実施、授業参観ガイド作成による説明力の向上、国語・算数（数学）等基礎学習の指導及び教材の充実		
【評価】	保護者	3.99	○
	教職員	3.89	○
	協議委員	4.80	◎

【分析】 授業力のさらなる向上が課題です。教材の充実、指導内容の検討などの取組をすすめてまいります。

最重点目標5 専門性の発揮・向上による特色ある教育の推進

Q6

【設問】	ICTや各種支援機器を効果的に学習指導に活用し、表現力等のコミュニケーション力を高めていますか。		
【取組】	図書環境の整備と読書活動の展開、DXハイスクール、生成AI、分身ロボット、プログラミング学習、スイッチ、コミュニケーション機器等の活用、各種検定へのチャレンジサポート等		
【評価】	保護者	—	—
	教職員	3.72	○
	協議委員	4.80	◎

【分析】 DXハイスクールの研究指定を受けて、ICT機器の整備が進みました。今後は配備された機器の授業での活用に重点を置き、取組をすすめてまいります。

最重点目標6 墨東生が安心して学校生活を送れる生活指導体制の構築

Q7

【設問】	児童・生徒の安全な通学の取り組みや自立に向けた通学指導ができていますか。		
【取組】	スクールバス・医療的ケア専用通学車両の運転手・添乗員との連携、スクールバス等との連絡体制や緊急時対応、運行確認アプリの運用、教職員乗降確認研修、乗務員研修の実施、一人通学の推進、緊急時の連絡方法の指導		
【評価】	保護者	4.05	◎
	教職員	3.73	○
	協議委員	4.70	◎

【分析】 良い評価をいただいておりますが、スクールバス・医療的ケア専用通学車両の安全な運行及び一人通学の推進に向けた取組を進めてまいります。

墨東生が安心して学校生活を送れる生活指導体制の構築

Q8

【設問】	いじめ・自殺、体罰防止に向けて、学校全体で人権を意識した適切な指導が行われていますか。		
【取組】	服務事故防止研修の実施、いじめ・体罰、自殺防止推進委員会の定例開催、体罰調査の実施、相談窓口の情報提供、「ふれあい月間」のいじめ防止シートの作成		
【評価】	保護者	3.81	○
	教職員	4.20	◎
	協議委員	4.70	◎

【分析】 いじめ・体罰、自殺防止推進委員会を隔週月曜日に実施し、早期発見・早期対応ができるよう情報共有を行っています。今後も人権を意識した適切な指導を徹底してまいります。

墨東生が安心して学校生活を送れる生活指導体制の構築

Q9

【設問】	校内で児童・生徒が事故やけがをしないように、安全な環境整備ができていますか。		
【取組】	総合防災訓練・避難訓練の実施、防災教育推進委員会、安全指導日の設定と指導、セーフティ教室の実施、教室・校舎内の環境整備、クリーンデスク・職場環境改善		
【評価】	保護者	3.81	○
	教職員	4.00	◎
	協議委員	5.00	◎

【分析】今年度は児童・生徒に事故やけが等で緊急事態が発生した際の対応訓練を肢体不自由教育部門全学習グループで行いました。また、健康面で配慮が必要な児童・生徒の点検もあらためて行いました。新年度も春季休業から迅速な対応できるよう訓練を重ねてまいります。

最重点目標 7 感染症予防の徹底を含む保健体制と安全で美味しい給食を提供できる体制の構築

Q11

【設問】	感染症予防の徹底を含む、安心できる保健体制が構築されていますか。		
【取組】	「ほけんだより」の発行、衛生的な環境の確保と想定訓練の実施		
【評価】	保護者	4.07	◎
	教職員	4.11	◎
	協議委員	4.80	◎

【分析】高い評価をいただきました。衛生的な環境の確保や安心できる保健体制を継続してまいります。

感染症予防の徹底を含む保健体制と安全で美味しい給食を提供できる体制の構築

Q12

【設問】	児童・生徒の摂食機能に応じた形態食の提供やそれぞれに応じた摂食指導ができていますか。また、アレルギー対策が徹底されていますか。		
【取組】	摂食指導（随時）実施、摂食相談実施後の学年単位での評価及び学習会実施、アレルギー等の研修会実施		
【評価】	保護者	4.03	◎
	教職員	4.00	◎
	協議委員	4.80	◎

【分析】アレルギー対応について「学校給食における食物アレルギー対応指針」の確認を全教職員で行いました。学校給食だけでなく、食物を用いて行う学習や校外行事での食事場面においてもあらためて対策の徹底に努めてまいります。

Q13

【設問】	医療的ケアの実施及び医療的ケア専用通学車両の的確で安全な運行が行われていますか。		
【取組】	「医療的ケア通信おおぞら」の発行、医療的ケア保護者会の実施、初期食シリンジ注入、保護者付き添い期間短縮化に向けた取組、医療的ケア専用通学車両対象者選定に向けた情報発信等		
【評価】	保護者	3.84	○
	教職員	4.06	◎
	協議委員	4.80	◎

【分析】本校の医療的ケア実施要項の改訂を9月に行いました。医療的ケア専用通学車両も1台増車しております。保護者自由意見では、医療的ケアの実施に係る申請書類の改善や取組のさらなる推進を望む声も出させています。引き続き、重要課題として取り組んでまいります。

最重点目標8 教育相談・進路指導・地域支援の充実

Q14

【設問】	就学・転学・入学・教育相談、地域支援、進路指導について、東京都特別支援教育推進室と連携し、就学予定児や児童・生徒本人、保護者への適切な支援ができていますか。		
【取組】	特別支援教育サポートデスクの設置（相談部を改組）、個別の電話相談、学校見学の実施、HP上の情報発信、各区・東京都と連携した就学相談及び転学相談の実施		
【評価】	保護者	－	－
	教職員	4.03	◎
	協議委員	4.80	◎

【分析】区教育委員会や東京都特別支援教育推進室と連携しながら、丁寧に就学相談や転学相談を行っています。保護者や関係機関に情報共有を的確に行い、円滑に進めてまいります。

教育相談・進路指導・地域支援の充実

Q15

【設問】	進路選択・進路指導に関する情報提供や指導の充実が図られていますか。		
【取組】	「進路だより」の発行（企業就労・通所施設等利用・高等部（高等学校）・大学等進学情報の発信等）、進路説明会		
【評価】	保護者	3.67	○
	教職員	3.54	○
	協議委員	4.70	◎

【分析】保護者及び教職員の自由意見でも進路に関する情報提供を望む意見や進路指導の充実を図るべきとの意見が寄せられています。2学期以降、進路だよりを発行しました。今後の取組のさらなる充実・改善が必要であると考えています。

最重点目標9 ライフ・ワーク・バランスを踏まえた、働きやすく魅力的な職場環境の創出

Q16

【設問】	ライフ・ワーク・バランスを踏まえた、働きやすく魅力的な職場環境を創出していますか。		
【取組】	職場環境改善プロジェクト：働きやすく効率的な職員室環境、実勤務時間の自己管理及び校務分掌改善による業務量の平均化、メンタルヘルス・ライフプラン構築へのサポート（専門家相談、セミナー、産業医相談）		
【評価】	保護者	－	－
	教職員	3.50	○
	協議委員	4.90	◎

【分析】教職員のアンケート評価ではいちばん評価が低い項目となりました。昨年度からの取組で職場環境の改善はすすんでおりますが、業務量の平均化を望む声も自由意見で出されています。引継ぎ、本校の課題として改善策を検討してまいります。

最重点目標10 研究と修養目標：ライフ・ワーク・バランスを踏まえた個々の研さん奨励

Q17

【設問】	授業者支援会議で得たノウハウを蓄積し、よりよい授業にすることができましたか。		
【取組】	授業者支援会議の実施（若手：授業改善力の育成、経験者：支援力の向上）、授業者支援会議で得た情報を集約した「授業改善ハンドブック」の作成		
【評価】	保護者	－	－
	教職員	3.76	○
	協議委員	4.70	◎

【分析】授業者支援会議の実施が2年目となり、授業改善の手法として定着してきました。授業者支援会議で得たノウハウを蓄積し、よりよい授業の実施に向けて努めてまいります。

研究と修養目標：ライフ・ワーク・バランスを踏まえた個々の研さん奨励

Q18

【設問】	個人情報保護し、児童・生徒の人権を尊重した業務が進められていますか。		
【取組】	会議記録等の電子保存化、クリーンデスクの計画実施		
【評価】	保護者	4.00	◎
	教職員	4.22	◎
	協議委員	4.90	◎

【分析】個人情報紛失防止のため、個人情報連絡袋をオレンジ色の半透明の封筒に、保護者から回収するアンケート用紙をカラー用紙に変更しました。今後も個人情報の紛失等の事故が起きないよう業務を見直していきます。

学校評価アンケート 本校保護者 自由意見（抜粋）

保護者の皆様から自由意見を抜粋して掲載します。個人が特定できる内容等は割愛しています。

No.	御意見	回答
1	入学して以降、娘は感情を表現することが格段に上手になり、できることも増えました。先生方が安全に配慮してくださっているおかげで安心して送り出すことができます。娘も学校が大好きです。これからも娘の成長を見守っていただくと幸いです。	御意見をいただき、ありがとうございました。今後とも児童・生徒の安全に配慮するとともに、教育活動の充実に、学校をあげて努めてまいります。
2	学校公開の資料や学校便りの充実、校舎の整頓や図書コーナーなどほんとに目に見えて素晴らしくなったと思っています。みんなを晴れがましい気持ちにさせてくれる行事や表彰もありがたく、うれしい思い出が増えました。校長先生はじめ先生方が情熱を傾けてくださる学校に通えることに、感謝です。	
3	学校の読書活動はとても効果がありました。まだ合読みですが、本が好きになって近所の図書館に行くのを楽しみにしています。興味をもって行動できるようになったことにとっても感激しています。学校の本のディスプレイもステキですねありがとうございます。	
4	いつも子供のことを第一に考えての教育や指導ありがとうございます。子供も毎朝登校を楽しみにしているようです。今後ともよろしく願いいたします	
5	環境・防災・学習さまざまな面で、よりよい学校生活が送れるためにご尽力くださっていることかよくわかります。整備されきれいで明るい学校に何うことが楽しみになり、息子が墨東に通えていることを誇らしく感じています。ありがとうございます！	
6	笑顔と学びのプロジェクトや、学校の玄関のポスターの作成など、墨東の中も外も綺麗になり、本が見やすく借やすくなり、より集いたいと思える空間になりました。また、保護者向けの勉強会もとても充実していました。子供が視線入力機械を使って絵を描くなどにも取り組ませていただける機会があれば嬉しいです。本格的な視線入力機械は高額で、まだ、なかなか家庭では用意が難しいです。他の学校では学校で取り組んでいるところもあるようです。視線入力で絵を描けるなど、活動の幅が広がると嬉しいなと思います。総合防災訓練も素晴らしい取り組みでした。先生方がきびきびとしていました。全体として、いろいろな改革が進み良い方向に変化している印象を受けました。	

7	楽しく学校に通っています。笑顔で帰宅するので、毎日充実しているのが子供から伝わります。先生方からの毎日のおたよりもわかりやすく、丁寧に書いていただきありがたいです。	
8	今年度のクラス編成にやはり無理があったのではないかと思います。先生や看護師さんの人員の都合での今の形かもしれませんが、去年までのような医療的ケア子と、そうでは無い子が混ざり5-6人/クラスが先生たちの目も行き届くので、適正なのではないかと思いました。	教職員の配置は、東京都の配置基準をもとに、教科や男女、経験年数のバランスを踏まえて決定しております。次年度に向けてよりよい形となるよう検討してまいります。
9	県の特支に通う友達が多くいます。東京都は教員の人数や重度重複の学級が少ないですが、先生方が少ない人数で頑張ってくださってとても感謝しています。	
10	宿泊行事が減るのがとても残念です。せめて修学旅行は2泊にして欲しい。保護者の意見も聞かずに縮小されるとは…アンケートを取るなどして欲しい。	宿泊行事については、旅行事業者や借り上げバスの確保が困難になっていること、教職員の残業時間の縮減が求められていることなどがあり、都内の他の肢体不自由校の実施状況を踏まえ、検討いたしました。御理解ください。校内での体験的な活動を企画してまいります。
11	都への要望ですが、特設自立活動室での授業時間を以前（5年前くらい）のように週に2回に増やして欲しいです。	学習指導要領や東京都教育委員会が定める教育課程の編成基準に基づき、本校の教育課程を定めています。教育内容のバランスを考慮し、現在の授業時数となっております。特設の時間以外でも、特設自立活動の内容を継続して取り組めるよう工夫してまいります。
12	ICT教育の外部専門員の方を増やしたり、教育カリキュラムにもICT学習をもっと積極的に取り入れたりしていただきたいです。	今年度DXハイスクールの指定の成果を踏まえ、準ずる課程のみならず、全校でICTを使用した学習を進めてまいります。
13	宮城先生の保護者学習会は障害を持つわが子の学習について考え理解する大きな契機になりました。本当にありがとうございます。このような学びの場を今後も続けて設けていただきたいです。	教職員向けの研修を来年度も計画しております。保護者の方も参加いただけるようにしたいと考えております。
14	宮城先生の保護者学習会は障害を持つわが子の学習について考え理解する大きな契機になりました。本当にありがとうございます。このような学びの場を今後も続けて設けていただきたいです。	
15	保護者玄関のドアは何度かいきましたがいつも施錠されておらず入れてしまいました。登下校時間以外は施錠すべきではないでしょうか。	御意見をいただきありがとうございます。ドアが開けたままにならないよう、さくら連絡網等で注意喚起をいたしました。
16	スクールバス乗降時に車椅子が倒れる等の事故が起きたとき、「添乗員さんの経験が浅く研修中だったので」では言い訳にならないので、初めての添乗員さんには十分な研修をお願いしたい。	スクールバスの運行事業者に指導いたしました。運行事業者とも連携し、安全に努めてまいります。
17	校内の安全は先生方の心理的安全から生まれると思います。先生方の負担を減らし、よい人材を確保できるような環境を作って欲しい。保護者に相談や協力依頼をもっとしていただきたい。	御意見ありがとうございます。今年度は児童・生徒の体調が急変した際の対応訓練を全学習グループで行いました。校内のヒヤ

18	校内で事故が起きないように対応策を策定し発表いただければと思います。	リハット事例の共有や事故の検証を行っております。校内の安全について、必要な対策をとってまいります。
17	医療的ケア専用車両乗車中に災害が発生した場合のマニュアルがあると安心です。	医療的ケア専用車両内にマニュアルを常備し、学校、運行事業者、看護師等で内容を共有しております。
19	医ケア専用車両毎月のバス希望紙と決定の紙の同時配布を希望します。	
20	<ul style="list-style-type: none"> ・青い医ケアファイルの医ケア指示書と、医ケアバス乗車日誌の体温等の順番が違っていますが、学校書類としてバイタルを記載する際の記載順は統一及び固定されてはいかがかと思えます。 ・医ケアの依頼書兼実施記録の「家庭より[学校での実施依頼]」欄のチェック付けは必要でしょうか。通学する以上、曜日により確定している滞在時間に発生する医ケアはマニュアル化されていてマニュアルの承認もして、それでも毎日チェックをする意味合いがわかりかねます。 	
21	医ケア児に対する様々な取り組みと情報発信をしていただき、学校と家庭との繋がりが強くなっていると感じています。また、保護者付き添い期間短縮化により、保護者の負担軽減及び離職防止に繋がったので、引き続き事業の実施をお願いしたく存じます。	
22	<p>医療的ケアの運用については、考え方・運用・マネジメント・マネジメント層全てに問題が多い。医療的ケア児の通学の壁の代表的で有名な存在だった5年前くらいの墨東特別支援学校に戻ってしまったと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前向きに取り組んでいるような外部発信だけはして課題は先送りしている。(基本今年度持ち越し) ・管理職・医療的ケア責任者(全員が該当しています)が保護者の意見や話を聞いているフリだけで耳を傾けてコミュニケーションをとることができない。 ・「ルール」と「自身の立場の安全」に注力したスタンスになっている。 ・実際のルールと意思決定やアクションが違っていることを理解しようとしていない。 ・問題を内部でやり過ぎて自己改善ができない組織になっている。 <p>注力する事がずれているので、インシデントの芽(ヒヤリ・ハット)が起きた時の対応に懸念をもっています。(現場の看護師は窮屈そうで過去に戻っているのかと錯覚します。)</p> <p>上記のように「外部からの声に耳を傾け、客観的に自己改善に取り組めない状況と理解していますので、私は今後も事実の収集と外部への連携をして、通学する生徒・学校の現場・保護者やその他関係者が前向きに物事に取り組めるように動きたいと思えます。</p>	医療的ケアに関する御意見をいただき、ありがとうございます。医療的ケアファイルの指示書と、医療的ケア専用通学車両の乗車日誌の様式について、改善を行いました。医療的ケアに関する諸課題の解決に向けて、保護者の方々とも連携をして取り組んでまいります。保護者の方に記入いただく内容についても、東京都のガイドラインを踏まえ、簡略化に努めてまいります。
23	日頃より学校生活と医療的ケアを受け入れてくださり深く感謝しております。我が子が医療的ケアを受け入れてもらうため、保護者立ち会い・共有、神経診察を受ける機会等来校する機会はまだ、医療的ケア児支援法の保護者離職防止を東京都がどのような点で配慮しているのか?把握したい気持ちも ございます。	

24	連絡帳ファイル内容の電子化を検討いただけたらと思います。	教室内で業務用端末を使用できる環境が整っていない現状があります。今後の検討課題としたいと思います。
25	<p>先生方はとても熱心で生徒や父母のことを考えて教育、学校生活を構築してくださっていて感謝しております。授業や学校行事は細部まで作り込まれており、先生方の指導力の高さを実感しています。保護者付き添い期間の短縮化について、今年度は保護者が驚くほどのスピード感で実行され、先生方の本気度を感じました。</p> <p>毎日の記入書類の多さについて、毎日のことだけにボディーブローのように親が疲弊していきます。夏休みから貸与されたタブレット端末や個人のスマホを活用した電子化、情報の一元化、共有化、重複情報を整理するなどの取り組みを進めていただきたいです。指示書など提出書類についても整理統合の余地が相当程度あるように思います。入学前の情報についても、全ての根拠資料を親から提出させるのではなく、行政間での基本情報の連携などにより、スリム化していただきたいです。区役所、東京都、学校、それに加えて放課後等デイサービス、同じ情報を何回も作成、提出するのは徒労感が大きいです。公立学校ですので、せめて行政との情報連携だけでもお願いしたいところです。</p>	<p>都や区といった行政や関係機関との情報連携については、本校も課題であると考えています。</p> <p>情報の電子化や書類の簡略化などについて、規則の範囲内で実施可能なものを検討してまいります。</p>
26	医療的ケア専用車両の毎月の予定表は、ペーパーで配ると同時に出勤用のアプリなどでも見られるよう配信していただけると、ありがたいです。	さまざまな書類の電子化について、現在検討中です。業務の煩雑さを避けるため、電子化したものは紙配布を取りやめる方向で考えております。
27	学校で撮影していただいた写真など紙に印刷していただけるのもありがたいですが、データでもいただくと、半永久的に思い出として残せるので、嬉しいです	個人情報保護の観点から、電子データでの提供はできません。御理解ください。
28	外部講師等の指導について、学校で様々な取り組みをしていただいている様子は日頃から連絡帳を通して共有してもらっているため本人にあった指導をしてもらっていると感じている。しかし、実際にどのような指導なのか、保護者への細かいフィードバックはその都度ではないため、家庭学習や日常的にどのように生かせば良いかまでは把握できず少しもったいないように感じる。保護者が見学できる機会もちろんあるが、その日の取り組みなどをタイムラグなく、動画などで共有してもらえるような仕組みができると有難いので、検討していただきたいです。	外部専門員の導入は、教員がより良い指導を行うための相談や助言を目的として行われています。そのため、外部専門員が行ったアセスメントの結果については担任にフィードバックされ、担任が指導に活用します。保護者の皆様へは、一部参観を可能としているものがありますが、担任が「外部専門員からどのようなアドバイスを受け、それをどのように指導に活かしているのか」について、個人面談等で説明させていただきます。
29	給食の食形態について、中期後期と常食の間にもう1段階中間の形態があるとより良いと感じている。(圧カット、食感を残した細かい刻み食など)	現在の給食提供の状況(施設や提供数)から食形態を増やすことは難しい状況です。給食の状況については、今年度から給食試食会を再開いたしました。今後、御参加いただけたらと思います。
30	給食もアレルギーではないがやはりどのような形態で食べているのか、量がどうなのか本人だけの回答では分かりにくいので写真や何かで現在の状況も知りたい時がある。	
31	校内の電気が暗いような気がします。	校内の一部蛍光灯をLED化しております。また昨年度から教室内の廊下側の窓をふ

		さがないよう教室の使い方を工夫しております。今後も改善に努めてまいります。
32	教室や特にプールサイドにリフトの設置を強く希望します。先生や学校介護職員の負担を減らしかつ安全に介助するためにもっとも優先されるべきだと思います。資金調達が難しい部分は寄付金を募るなど保護者として協力できることはしていきたいです。	御心配いただきありがとうございます。東京都の施設であるため、大きな改修工事は学校独自では実施できません。また、寄付金の活用についても、公共の施設であるため、本校のみの改修に使用することはできません。施設改修の要望は東京都に挙げていきたいと考えています。
33	進路について具体的なスケジュールやどこが適切かのアドバイスないです。	進路指導に関して、今年度は進路だよりの発行等で情報提供を行いました。進路指導の充実については学校運営連絡協議会においても、令和7年度への学校への提言としてあげられております。学校経営英計画にも重点項目として位置づけ、組織的に対応してまいります。
34	進路指導に関しては、1年生だからかもしれませんが、夏休みの職場体験に関しては、冊子一覧になった施設から選択し、当日ご同行頂いたのみかと思います。特に全体の説明会など記憶になく、学年全体で難しければ、進路の選択肢など参加募集型でオンラインで実施し、興味はあったが参加できなかった方があとで閲覧できるような形式はいかがでしょう？また、就労先としての可能性を先生と進路指導部で個人に合わせて、どんな選択肢があるか提示してほしい。	
35	進路指導について、小学部には情報が無いため評価できないが、小学部にも今後の進路のための参考情報提供があってもよいのではないかと。紙ベースでなく、該当学年に配布するものと同一でなくても、一覧できる何かデータがあると、早い段階から先の見通しが想像できるので良いと思います。	
36	以前はプログラムの学校での保管に関して年1回の薬の使用期限に伴う入替えなどの管理がなされていましたが、今年度から特に何の音沙汰がないことに少し不安を覚えています。保護者側も気にとめる必要はあるとは思いますが、学校側の管理もこちらに共有頂きたいです。	
37	アンケートですが学校に頻繁にいて校内を歩き回って観察しないと答えようがない項目が散見されます。学校側の発信物を読んで評価するような作務を感じます。これも現在の墨東の残念な特徴である「点数稼ぎ」になっていないでしょうか？	アンケート項目について「分からない」または「該当しない」といった選択肢を設けるなど、設問を工夫して、回答がしやすい内容にできるよう、来年度に向けて検討してまいります。
38	答えに窮してしまう（例えば、摂食の項目は経管の子の保護者は評価できないし、個人情報の管理が出来ているかどうかなどは、保護者は知り得ないのではないのでしょうか）質問内容が多いとつねづね感じておりました。星をつけるだけのこのアンケートが、どこでどのように活用されているのか、とも懸念しておりました。正確に評価してゆくにはどのように改善すべきか、具体的なアイデアまでは申し上げることができず文句しか言えないしなあ、と飲み込んで、分かる範囲で星づけをしましたが、それも良くないとも感じておりました。	
39	通院の送迎や授業参観等でしか学校へ行く機会がなく、本人が発語の練習中で話すことが出来ず、連絡帳でしか学校の様子が分からないので、今回の質問内容が難しいように思いました。	
40	いつも本当にお世話になっております。こういったアンケートに記載した内容が細かいことでも随時反映いただいているのを見ると、こちらも意見すべきことをしつ	

かりと考えなくてはいけないと引き締まります。毎日感謝でいっぱいです。今後ともよろしくをお願いします。	
--	--

1月27日(月)実施の学校運営連絡協議会では、今年度の学校評価の結果を踏まえ、以下の提言をいただきました。こちらの提言を踏まえ、次年度の学校経営をすすめてまいります。

令和6年度都立墨東特別支援学校 学校運営連絡協議会 提言

提言1 授業の充実

自立活動を主とする教育課程では、今年度から東京都の平均の2倍あった自立活動の授業時数を減らし、教科別の指導を増やしました。今度は授業内容の充実です。特別支援学校学習指導要領解説の中で示されている各教科の目標・内容の一覧を踏まえ、子供たちの発達や学習の習得状況を把握し、教科指導を充実させることが大切です。

また自立活動の目標は、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養うことです。これは学校生活全般で自立活動の視点が必要不可欠であることを今一度再認識し、学習習得状況把握表などを活用して自立活動の目標設定から授業の実施に至るまでの流れも校内で整理すること、姿勢づくりや介助方法の研修の実施についても検討してください。

提言2 学校安全の充実

学校評価において学校の安全や人権意識についての懸念が保護者から意見として寄せられています。

児童・生徒が安全・安心な学校生活を送れるよう医療的ケアのあるなしに関わらず、全児童・生徒に関する医療面・健康面の配慮事項の引継ぎや校内の情報共有策の充実、緊急時の連絡や対応方法の充実及び保護者との共有について、全校をあげて取り組んでください。また、いじめや体罰などについても教職員の人権意識をより高めてください。

提言3 進路指導の充実

学校評価では進路指導について多くの意見が寄せられています。多様な障害のある児童・生徒が在籍しています。医療的ケアが必要な児童・生徒の進路など進路指導上の課題を整理することが必要です。進路情報を提供したり見学会を実施したりするなどして、一人一人の状況に応じた進路と進路指導について教職員と保護者が理解する機会を作ってください。

提言4 働き方改革の推進

昨年度のライフワーク・バランスの改善について、提言をいたしました。職場環境の整備は進んでいますが、学校評価においては業務の整理・効率化が必要な状況であることがうかがえます。既存の業務の整理・統合、書類の簡略化など、特にICTを活用した業務の効率化を一層進めてください。